

アジアを見る眼



丸川知雄 著

世界を覆いつくす市場経済は
誰がどうやって創り出したものなのだろうか
中国ではいま計画経済の殻を打ち破って
市場経済が誕生しようとしている
いつよに中国の産業の現場に行つて
どうやって生まれてくるのか観察しよう

市場発生のダイナミクス

移行期の中国経済

アジア経済研究所

IDE-JETRO

丸川知雄 著

市場発生のダイナミクス

移行期の中国経済

著者紹介

まる かわ とも お
丸 川 知 雄

1964年生まれ

1987年 東京大学経済学部経済学科卒業

同 年 アジア経済研究所入所

1991～93年 海外派遣員として中国社会科学院工業経済
研究所客員研究員

現 在 日本貿易振興会アジア経済研究所地域研究
第1部

(著書論文) 「中国の『三線建設』(I)(II)」(『アジア経済』第34巻
第2号, 第3号, 1993年2月, 3月)

「中国の国有企業改革の動向」(長岡貞男・馬成三・S・
ブラギンスキー編著『中国とロシアの産業変革』日本
評論社, 1996年)

「中国における企業間関係の形成」(『アジア経済』第35
巻第9号, 1994年9月)

「市場経済移行のプロセス」(『アジア経済』第37巻第6
号, 1996年6月)

『中国産業研究入門 解説とデータ』(編著) 日本貿易振
興会アジア経済研究所, 1999年。

市場発生のダイナミクス

——移行期の中国経済

アジアを見る眼98

1999年3月31日発行©

著 者 丸川知雄

発行所 日本貿易振興会 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42 電話 03(3353)4231(代)

研究支援部 電話 03(3353)1640

FAX 03(3357)0435

印刷所 株 式 会 社 三 陽 社

東京都板橋区高島平9-13-7

落丁、乱丁はお取替え致します

ISBN4-258-05098-9 C1233

地中海から太平洋まで、この広くアジアと呼ばれる地帯には幾十かの国がある。その大部分は第二次世界大戦以後、古い植民地体制から脱して新興の独立国となったものである。世界の人口の半ば以上のものがここにある。これらの新興国はそれぞれの立場に立つて、建国創業の仕事に力をつくしている。

その業は果たして障害なく着々と進んでおるか。だれもがこれに対して頭をかしげるであろう。そしてだれもがアジアは「流動的」であるという。

流動的とは何であるか。また何でないか。いくたの混みいった事態のなかを、一本の金の線が生々発展的に縫っているのも流動的である。経済は着々と成長し、政治は一つの体制のなかで徐々に整備されているような場合がそれである。

アジア諸国の大部分については、事態はこのように簡単ではない。もちろん、経済の場面には大きな発展・成長の芽生えはある。しかし、他面においてそれを抑制するものが力づよい。またおよそ発展や成長を考える場合、在来流行の理解によるパターンを以つてするのが果たして正しいか、との疑問もでてくる。さらに政治体制については、イデオロギーの対立、複合民族国家における特殊なナショナリズムに伴う民族や種族間の闘争があつて、政治的安定はなかなか期すべくもない。独立国家の幼年期に伴う政治的、行政的未熟もまた考えられるべき大きな原因である。

こういう次第で、アジアが流動的であるとは、一つの混沌を意味するものといえようか。そしてその上に立つていかなる経済・社会・政治の体制が整いだされるのであろうか。——この意味で二〇世紀後半のアジアは世界における「問題」、いな最も大きな「問題」である。

アジア経済研究所は、まさにこの「問題」の理解に向かつて、ひたすら前進をつづけている。われわれの期するところは、まさにそれぞれの国の現実に即した精確な知識を供しよう、そしてこの大きな「問題」について静かなサピスをいたそうとするに尽きる。設立以来すでに七カ年余り、専らそういう道を歩んできたし、今後もそれに変わりはしない。このシリーズは、多くの研究や調査の報告書、現地調査を土台として、アジアについての解説書・教養書たることを目標とするものである。

一九六六年三月

アジア経済研究所 東 畑 精 一

市場発生のダイナミクス 移行期の中国経済

世界を覆いつくす市場経済は
誰がどうやって創り出したものなのだろうか
中国では計画経済の殻を打ち破って
市場経済が誕生しようとしている
いつか中国の産業の現場に行くと
どうやって生まれてくることが観察できる

アジヤを渡る旅



IDE-JETRO

ISBN4-258-05098-9 C1233

目次

序

第1章 市場経済の発生過程——テレビ産業 1

- 1 計画経済から市場経済への移行 1
- 2 中国テレビ産業における市場経済移行 10
- 3 市場経済を生み出す「過剰経済」 45

第2章 市場経済と企業組織——自動車産業 55

- 1 「タテ割り型分業」の問題 55
- 2 企業グループの誕生——東風グループの例 71
- 3 企業グループの問題点——一汽グループの例 96

第3章 なぜ対外開放を行うのか——繊維産業 115

- 1 衣服輸出大国への歩み 115
- 2 中国の衣服輸出産業と日本企業 122
- 3 輸出向け衣服産業と地場の繊維産業との関係 129

第4章 市場経済と流通システム 145

- 1 流通業の未発達 145
- 2 自動車の流通システムの形成 159

3	流通と生産の連携——運動靴の例	182
4	小売業の革新	185

第5章 市場経済と労働市場 195

1	中国の企業はなぜ人が多いのか	196
2	企業のリストラと失業	202
3	分断された労働市場	208

参考文献 219

おわりに 225